

令和5年度武蔵野市防災会議議事録

開催日時	令和6年1月10日(水) 午後1時～2時
開催場所	武蔵野市役所西棟5階 対策本部室
防災会議委員	別紙「武蔵野市防災会議委員名簿」のとおり
出席委員	※委員名後ろの(代理)は当日代理者が出席 小美濃安弘、田原なるみ(代理)、細川卓巳、菅野修司、 落合勝利、藪原太郎、道場ひでのり、伊藤英穂、恩田秀樹、竹内道則、 菅野晃一、松井栄一郎、生稲克己(代理)、富岡達生、川上卓郎、 泉並木、矢田照博、岡村優子、中嶋伸、宮原隆雄、宇田川みち子、 高橋勇、佐々木岳、栗原尚孝、高岡利行(代理) (計25名)【敬称略】
事務局	防災安全部

1 開会

【事務局】

定刻となりましたので、令和5年度武蔵野市防災会議を進行いたします。本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。武蔵野市防災会議の目的は、武蔵野市地域防災計画を策定し、その実施を推進することとなっております。従来は計画の策定・修正時のみ開催しておりましたが、今年度より、年に1回程度開催し、計画を着実に推進していく予定でございます。本日は、令和4年度に修正いたしました武蔵野市地域防災計画を踏まえ、令和5年度の取組実績や共有事項に関してご報告いただきたいと存じます。よろしくお願いたします。

—<配布資料確認>—

なお、武蔵野市防災会議運営規程第5条の規定によりまして、議事録の作成が義務付けられておりますので、本日は録音をさせていただいております。あらかじめ、ご承知おきください。

それでは、ただいまより令和5年度武蔵野市防災会議を開会いたします。さて、この会議の議事でございますが、武蔵野市防災会議運営規程第4条によりまして、会長が主催することとされております。以後は会長に進行をお願いいたします。

会長、よろしくお願いたします。

2 議事

【会長】

はい。それでは、私がこの会議の進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

本日は公私にわたりお忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、昨年度は皆様のご協力のもと、約7年ぶりに武蔵野市地域防災計画の修正ができました。このことに関しまして改めて感謝を申し上げる次第であります。

さて、本年1月1日には能登半島地方で地震がございました。まだまだ、被災された方がいらっしやいます。また、お亡くなりになった方には心からご冥福をお祈りしたいと思います。

社会構造も変化する中、「自助・共助・公助」の的確な連携を踏まえた防災対策の充実は喫緊の課題であると認識しております。

今後30年以内に70%の確率で起こるといわれている首都直下地震も予測から約10年がたち、いつ発生してもおかしくない状況にあります。

皆様と共に作り上げた武蔵野市地域防災計画を着実に推進し、武蔵野市での被害を少しでも減らすことができるよう、今後も各関係機関等と連携しながら様々な対策に取り組んでまいりたいと思っております。

最後になりますが、本日は委員の皆様におかれましては、活発な発言をお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

本防災会議は、武蔵野市防災会議運営規程第3条の規定によりまして、会議の開催には過半数の委員の出席が必要となりますが、総委員28名中、現在25名の出席をいただいておりますので、会議は有効に成立しております。

それでは、さっそくではございますが、議事に入らせていただきます。

次第の2 報告事項「令和5年度防災訓練実績及び今後の訓練スケジュールについて」及び「武蔵野市地域防災計画（令和4年度修正）の進捗報告について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

—<事務局より説明>—

【会長】

ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がございましたら、ご発言をお願いいたします。

【委員】

今後のスケジュールについて、実際の建物を使って仮想の倒壊家屋を想定した、建物のトリアージのような訓練を毎年3月にやらせていただいております。見学に来ていただければ、ありがたいと思っております。

【事務局】

被災建築物応急危険度判定連絡協議会というものを、毎年1回やっております。コロナの影響もありまして昨年度から復活し、今年2回目になります。建築指導課に確認したところ、令和6年3月2日に実施予定ということです。

【会長】

議会等の予定がなければ、視察もさせていただきたいと思っております。

【委員】

水防・防災フェスタ(仮称)についてお伺いします。水防訓練とはらっぱ防災フェスタが同じ場所で同時開催のようなイメージですが、中身についてはそのようなイメージでよいのでしょうか。組み合わせることで何かあるのか、ご説明ください。もう一点、非常用浄水器について、保管場所が各学校の防災倉庫ということですが、アルストッカーの中にある防災用品の管理責任はどこが責任を持つのか、ご教授ください。

【事務局】

水防・防災フェスタ(仮称)についてです。中身についてはこれからしっかりと精査していきたいと思っておりますが、水防訓練と展示型の防災フェスタを組み合わせることで、水害の際の行動について知っていただくことなど、大きな啓発になるかと思えます。規模が大きくなることでより多くの市民に参加いただけるようになり、中身に関してもより実効性のある実践的な訓練、そして啓発に繋がるような内容を今後検討していきたいと思っております。また、アルストッカーについては、基本的に中身の備蓄品も含めて市で管理しておりますので、管理責任は市にあります。

【会長】

それでは続きまして、共有すべき報告事項として事前にご提出いただいております武蔵野警察署令和6年度大規模災害対策の推進について、警視庁武蔵野警察署よりご説明をお願いします。

【委員】

武蔵野警察署では、警視庁災害対策課の指導の下、大規模災害対策推進テーマに沿って大規模災害に備えるべく準備を進めてまいります。5つあるテーマの中で、特に皆様にご協力いただきたいと思う2つが、地域防災力の向上、関係機関との連携強化です。地域防災力の向上では、昨年に引き続き訓練、意見交換会等に積極的に警察が参加し自主防災組織の向上に努めてまいりたいと思っております。関係機関との連携では、市役所へのリエゾンや市役所と警察との無線の訓練など平時・有事における情報の共有、機能・特性の理解と相互補完による総合力の発揮、事業者等との協力体制の構築をしていきたいと思っております。

【会長】

ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がございましたら、ご発言をお願いいたします。

【委員】

能登半島地震が起き、火事場泥棒のような犯罪が残念ながら発生をしていると、ニュース等でおりました。東日本大震災の時にも性犯罪で、女性が避難所で襲われるといった事例も報告されておりました。防止する事は困難なことだと思うのですが、災害時での犯罪防止、それに対する対応を検討されているようでしたら教えていただきたいと思っております。

【委員】

各地域に、広域緊急援助隊を派遣しているところですが、災害の派遣とは別に、防犯的な意味合いの警察官も同時に派遣されております。また、交通の面での業務を行う派遣も行われております。実際災害が起きた場合、あらゆる面で警察官が業務をカバーできるような計画をしております。

【委員】

市民の方々もそういった部分で心配の声も上がっておりましたので、できましたら折に触れてそういった情報共有をさせていただければと思います。

【委員】

この度の能登地震につきまして武蔵野赤十字病院より、報告させていただきます。1月2日に救護班として医師2名、薬剤師・看護師8名を救護班として出しております。その後、もう一班7名の救護班を出しています。現状避難所の衛生環境が非常に悪く、感染症が起きております。救護班は、長期に渡って派遣しなければならないと思っております。できる限りのことをしたいと思っております。

【会長】

貴重なご意見ありがとうございます。続きまして「令和5年中の武蔵野市内の災害状況について」東京消防庁武蔵野消防署よりご説明をお願いいたします。

【委員】

令和5年につきましては火災件数が55件、出火原因としてはそのうち30件が電気関係と電気火災が多くなっています。電気火災の出火原因を見ますと充電式電池等の電気機器の件数が15件となっております。

続きまして、武蔵野市内の救急出場状況ですが、令和5年につきましては9,191件と初めて9,000件を超えました。東京消防庁管内で見ても初めて90万件を超えています。東京消防庁としては、救急車の出場率が80%を超えたり、その状態が継続されることが予想されるなどにも発表する、救急車ひっ迫アラートという制度を令和5年7月に運用開始し13回発表しました。また、119番に迷った際にご相談いただける#7119についてもご理解ご協力をお願いいたします。

【委員】

出火原因を見ると放火が増えているという印象ですが、その傾向になった理由について把握されているようであれば教えていただきたいです。また、ニュースなどでは救急車を使わなくてもいいようなところでも、救急車を求められたという情報を目にしますが、そのような件数がどれくらいあるのか教えていただきたいと思います。

【委員】

放火について、令和4年と令和5年を比べると増加していますが、長期的にみますと、監視カメラなどの社会インフラが整備されてきたことを契機として、かなり件数が減ってきているという印象を持っております。救急車の方ですが、武蔵野消防署が判断するというのではなく多摩指令室というところがトリアージといったことをしており、あまりに救急とは関係ない通報が入って来た場合には、お断りするといったことをしています。ただ、実際行ってみないと状況がわからないことがあります。判断に迷った際は#7119をお願いします。

【委員】

出火原因で充電式電池が、結構な件数になっております。市の方でも、ごみの破碎の際に加圧されて熱を発生して出火するといった事がたびたび起こります。家庭内で充電式電池が出火及び火災の原因になることについて、留意すべき事項があればお尋ねしたいと思います。

【委員】

リチウム電池は圧力・衝撃があると火災になってしまうというところで、ごみ収集車の方で火災があるという事情でございます。また、充電式のもので留意していただきたいことは、純正品でないものを使われていることにより、火災が多くなっている傾向にあることです。また、タコあし配線等、普段からの整理整頓に留意していただければと思います。

【会長】

続きまして、電力インフラ、防災、減災対策の今について東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社より説明をお願いいたします。

【委員】

2019 年台風 15 号による倒木で電柱等が倒壊したことにより道路も通れないといったことがありました。この被害を受け、教訓として自治体と連携して事前に伐採等を行う事によって被害を少しでも減らすということをしております。また、自治体様との災害時の協定を結ばせていただいております、基本的な対応についての連携の確認、災害時の迅速な連携などについて引き続き行ってまいります。

また、NTT東日本様、東京ガス様と一緒に同じライフライン事業者同士連携して早期の復旧について協力し合うということで、連携の協定を結んでおります。ライフライン事業者同士協力し合って復旧活動に努め、市民の方々に迅速に生活が戻っていただけるような計画を進めています。

台風 15 号の際に長期停電が続き、EV車等を使った避難所への電力供給を行った経験を活かし、給電用にも使える自動車を弊社の方でも配備するようにしています。レジリエンス向上に繋がるような内容についても進めていければと思っております。

【会長】

ただいまの報告につきまして、ご意見ご質問がありましたらご発言をお願いいたします。それでは事前にいただいていた報告事項は以上となりますが委員の皆様より報告すべき事項はございますでしょうか。

〈質問無し〉

3 報告

【会長】

次第の3 その他について事務局より説明をお願いします

【事務局】

—＜事務局より今後のスケジュール及び議事要録確認方法について説明＞—

4 その他

【会長】

その他各委員からご発言はありますでしょうか。

【会長】

ただいまの説明につきましてご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

以上で予定の内容を全て終了しましたが、ほかに委員から何か報告事項等がございましたらご発言をいただきたいと思えます。

5 閉会

【会長】

なければ、以上をもちまして令和5年度武蔵野市防災会議を閉会とさせていただきます。今後も、本計画の着実な推進に向け、引き続き、ご出席の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。本日はありがとうございました。